

「鍵 日ごろから防犯意識を高めよう かけ安全の家」ステッカーを配布

県内で多発する住宅侵入窃盗事件。美郷町内でも、ことし9月末までに5件の被害があり、そのすべての家で鍵がかけられていませんでした。

これを受けて、美郷町長寿社会対策パイロット地区活動推進協議会(大仙警察署主催)では、地域の防犯意識を高めることを目的とした「鍵かけ安全の家」ステッカーを発案。美郷町防犯協会(齊藤新一郎会長)の協力を得て、10月10日から町内全戸に配布しました。

また、全国地域安全運動(10月11日~20日)の期間中には、同防犯協会員らによる「鍵かけ啓発パトロール」が町内全域を対象に行われ、鍵かけを呼びかけました。

ほんの少しの間でも、家や車から離れるときは必ず鍵をかけ、盗難被害に遭わないように心がけましょう。



住民とともにステッカーを貼り
防犯を呼びかける



第3回 仙南カントリーパーク周辺を清掃しました 3回清掃ボランティア

町の清掃ボランティアが10月14日、仙南カントリーパークで約60人の町民の皆さんが参加して行われました。この清掃ボランティアは6月に千畑地区、8月に六郷地区で行われたのに引き続き行われたもので、今回で第3回を迎えました。

仙南カントリーパークは一帯が公園になっており、キャンプ場や野球場、イベント広場などがあり、日ごろから管理が行き届いている場所ですが、公園外の斜面や道路わき、木陰などの目立たない場所に、隠すように不法投棄されたごみがあり、あらためてモラルを考えさせられました。

秋も深まりつつあり、肌寒さが感じられる中を参加者していただいた一般ボランティアの皆さん、そして「美郷町奉友会」の皆さん、ありがとうございました。

また、美郷町として初めて計画した「清掃ボランティア」でしたが、第1回目から第3回目まで事故もなく無事終了いたしました。参加していただいた延べ170人の皆さん、お忙しい中ご協力をいただき本当にありがとうございました。

第32回 体を動かし健康を喜び合う 32回六老連スポーツ大会

六郷老人クラブ連合会(枝川慶一会長)主催の第32回六老連スポーツ大会が10月17日、六郷地区の24の老人クラブが参加して、六郷体育館を会場に開かれました。

大会では、コース上に置かれた碁石をはしでカップに移してゴールを目指す「つまみ競走」や、ボールをスプーンから落とさずに走る「スプーンレース」など8種目で競い合われ、体力とは違ったコツを必要とする競技種目に挑戦する参加者らに、会場からは大きな声援が送られていました。

今回の大会結果は次のとおりです。

優勝 北部寿クラブ 準優勝 旭町クラブ
第3位 荒町高砂クラブ 奨励賞 上鍮田長寿会



パン食い競走に臨む参加者



六郷高校の地域交流会

「みんなで ささえ合い ともに生きよう」をテーマに、六郷高校の学生と地域の高齢者、福祉施設利用者との親睦を図る地域交流会が10月18日、六郷高校体育館で開かれました。今回で3回目となるこの交流会は、地域の皆さんとの交流を通じ、高校生にこころ豊かな思いやりのある行動力を育てることを目的に六郷高校が主催しているものです。参加したお年寄りの一人は「吹奏楽部の演奏や生徒たちの発表を見ることができて、今日はとても楽しかった。これからも皆さんと『仲良く元気で今を忘れずに』を合言葉に一日一日を大事に過ごしていきたい。」と話していました。



写真左から本間美和子さん、浜口優花さん、松田町長

民謡「長者の山」優勝者・浜口優花さん

恩師とともにうれしい優勝報告

第16回民謡「長者の山」全国大会(10月14~15日、千畑体育館)の一般の部の優勝を勝ち取った、浜口優花さん(大曲農業高校2年・大仙市)が10月18日、優勝報告のため六郷庁舎を訪れ「優勝者の名前が読み上げられたときは、夢が思うくらいうれしかった」と大会当日の感動を松田町長に伝えました。

浜口さんが在籍する大曲農業高校の文化芸能部は、美郷町内の老人福祉施設の慰問活動にも積極的に取り組んでおり、一緒に訪れた同部の顧問を務める本町の本間美和子さん(大町)は「(浜口さんは)入部当初から優勝したいと話していた。優勝してくれて本当にうれしい」と教え子の快挙を喜んでいました。

秋 ボランティアで畳の張り替えを行う 田県豊商工組合の大曲支部青年部

秋田県豊商工組合大曲支部(栗林弥好支部長)青年部のご好意による畳の張替え作業が10月19日、仙南中学校で行われました。この日、手作業で張り替えされた畳は、同校のセミナーハウス指導員室2部屋の畳、計10畳半です。栗林支部長は「機械化の時代だが、青年部員たちがこのような活動を企画し、互いの技能向上に努め頑張っていることを知っていただきたい」と話していました。



第3回美郷町社会福祉大会

ふれあい・ささえあい・たすけあい

ことして3回目となる美郷町社会福祉大会(町社会福祉協議会主催)が10月19日、千畑体育館で開かれ、町民など約340人が参加しました。

大会では、町社会福祉協議会の高柳会長より長年の社会福祉活動に貢献のあった16人1団体に表彰状、24人に感謝状、秋田県共同募金会長から23人に感謝状がそれぞれ贈られました。

また、みんなが互いに見守り支えあう地域づくりの推進・健康と生きがい活動の推進、福祉による地域の活性化につとめることを盛り込んだ大会宣言を採択しました。このほか、福祉活動の紹介として仙南中学校のボランティア活動への取り組み、雁の里ふれあい運営委員会の発表がなされました。

秋 園生のよろこぶ顔をみるのが楽しみ 田調理師「大秋会」県南支部

秋田調理師「大秋会」県南支部(赤川忠勝支部長)の皆さんが10月23日、後三年更生園(進藤恭助園長)を訪れ、利用者の皆さんに自慢の料理を振舞いました。同会は、大仙市や横手市、湯沢市を中心に活躍している調理師の皆さんで組織されているもので、この慰問活動は平成7年度から12年間にわたって毎年行われています。

この日は5人の調理師の皆さんが、にぎり寿司と茶碗蒸し、芋の子汁を手際よく作る姿が見られ、昼食時を迎えた食堂はおいしそうな芋の子汁の香りで包まれました。「園生のよろこぶ顔をみるのが楽しみ」と話す赤川支部長に、利用者から「にぎりたてのお寿司がいただけるのを何日も前から楽しみにしていた。ありがとうございます」と感謝の気持ちが伝えられ、普段、ホテルなどで腕を振るっている調理師の皆さんが作る料理に舌鼓を打ちました。



にぎり寿司作りに挑戦する利用者の皆さん